



渡邊あき 千葉純子 松下落子 大島路子 海野幹雄 川井綾子
| クラリネット | | ヴァイオリン | | ヴァイオリン | | ヴィオラ | | チェロ | | ピアノ |

チェンバー・ソロイストズ KANAGAWA 2015

[みなとみらい室内楽の夕べ Vol.4]

ヴォルフ：イタリア風セレナーデト長調(弦楽四重奏)
モーツァルト：クラリネット五重奏曲 イ長調 K.581
ブラームス：ピアノ四重奏曲 第2番 イ長調 作品26

2015.3.18 [水]

| 開演19:00 (開場18:30) |

横浜みなとみらいホール小ホール

| 入場料金 | 全自由席 3,500円 | お問い合わせ | **アウローラ・クラシカル 044-819-5868**

主催：チェンバー・ソロイストズKANAGAWA 協力：デュオジャパン 後援：神奈川新聞
チケット前売り所：横浜みなとみらいホールチケットセンター 045-682-2000 / チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード248-922)





AKI WATANABE
clarinet



JUNKO CHIBA
violin



FUKIKO MATSUSHITA
violin



MICHIKO OSHIMA
viola



MIKIO UNNO
cello



AYAKO KAWAI
piano

渡邊あき | クラリネット |

神奈川県横浜市出身。私立捜真女学校中学校・高等学部卒業。第11回『かながわ音楽コンクール』管楽器部門にて総合第2位。受賞者演奏会にて神奈川県フィルハーモニー管弦楽団と共演。平成11年度桐朋学園大学卒業演奏会に出演。ヤマハ主催『管楽器新人演奏会』、横浜音楽協会主催『第71回横浜新人演奏会』に出演。第5回『日本クラリネットコンクール』入選。『レインボウ21 サントリーホール・デビューコンサート』にてメシアン作曲『世の終わりのための四重奏曲』を演奏し、好評を博す。2001年桐朋学園大学音楽学部研究科を終了後、渡欧。ウィーン国立音楽大学に学ぶ。ウィーン音楽セミナー主催『Dichler-Satoコンクール』第1位。2002年ルーマニアにて国立オーラディアフィルハーモニー管弦楽団、オーストリアにてハンガリーのジュールフィルハーモニー管弦楽団と共演。第71回『日本音楽コンクール』第3位。同年、ブカレスト・ジョージ・エネスコフィルハーモニー管弦楽団と共演し、CD『W.A.Mozart』を制作。小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクト『ドン・ジョヴァンニ』『こうもり』に参加。2004年春、日本に帰国し国内での演奏活動を再開。初のリサイタルを開催し、絶賛を浴びた。2005年、2007年、小澤征爾率いる東京オペラの森に出演。NHK-FM『名曲リサイタル』にラジオ出演。現在、ソロ、室内楽、オーケストラ演奏、指導など幅広く活躍中。

千葉純子 | ヴァイオリン |

桐朋学園高校、大学を経てジュリアード音楽院に奨学生として留学。在学中にニューヨーク・アーティストインターナショナルコンペティションで優勝、カーネギーリサイタルホールでニューヨークデビュー。ティボール・ヴァルガ国際ヴァイオリン・コンクール入賞、台北国際音楽コンクール最高位、イタリアのキジアーナ音楽院にて名誉ディプロマを受賞、大垣音楽祭で最優秀新人賞受賞、また明治安田生命クオリティオブライフ文化財団助成奨学生となる。これまでにバイヤール室内管弦楽団、ブラハ放送交響楽団、ブラハ室内管弦楽団、ドイツ・パッパザリステン、ウィーン・ヴィルトゥオーゾ、タイペイ交響楽団、堀正文率いるN響トップメンバーなどと共演。またヨーロッパ各地でリサイタルを開く。NHK-FM、BS放送などにも出演。CDは、カメラータ・トウキョウより「レスピーギ：ヴァイオリン・ソナタ」、「シューマン：ヴァイオリン・ソナタ」、アウローラ・クラシカルより「メンデルスゾーン：ヴァイオリン・ソナタ」、「モーツァルト：ヴァイオリン協奏曲全集I」、「テンポ・ディ・メヌエット〜ヴァイオリン名曲集」、またビクターより「ヴァイオリン名曲の花束」をリリース。現在、ソロ、室内楽のほか、紀尾井シンフォニエッタ東京、ヴィルトゥオーゾ横浜のメンバーとして、また主要オーケストラのゲストコンサートマスターを務めるなど、幅広く活躍している。山梨学院大学附属小学校特別講師、フェリス女学院大学音楽学部、洗足学園音楽大学及び附属音楽教室講師。

松下路子 | ヴァイオリン |

東京藝術大学附属音楽高等学校を経て、同大学卒業。在学中よりパリ国立高等音楽院に留学し、現在修士課程二年日在学中。審査員の最高評価を得て進級。2013年フランス国家演奏家資格を取得。2013-14年度パリ管弦楽団アカデミーオーディションに合格し、ディプロムを取得。アカデミー内にてオルタンス・カルティエ=プレゾン（パリ国立高等音楽院ピアノ科教授）とパリのサル・ブレリエルにて室内楽を共演。好評を博す。アートヴィレッジ大崎にてリサイタル、横浜そごう美術館サロンコンサート、ニュー・アーティストシリーズジョイントリサイタル（代々木上原ムジカーザ）など各種コンサートに出演。東日本大震災のためのチャリティーコンサート（パリ・ユネスコ本部にて）オーケストラに参加。また、子供たちのための演奏会活動を通じて社会活動へ積極的に参加している。フランス、イタリア、韓国など海外の音楽祭、また、カナダでは奨学金を受けて Orford Music Academy に参加。これまでに、山内祐子、奥村智洋、千葉純子、若林暢、原田幸一郎、漆原朝子の各氏に師事。現在パリ国立高等音楽院にてミカエル・エンツ、コンスタンチン・ボグダナスの各氏に師事している。東京、パリを拠点に各種音楽活動を展開。

大島路子 | ヴィオラ |

桐朋学園大学を卒業後、イーストマン音楽院にてパフォーマーズ・サーティファイケイトを受賞。その後ニューヨークのカサット弦楽四重奏団のメンバーを14年つとめた。ベートーヴェンのクアルテット全曲演奏をパッファローのNY州立大で二年間担当、またアメリカの現代作品を中心とした17枚のCDを録音。現在は東京に拠点を移し室内楽を中心に活動している。2013年度カワイサウンド音楽振興財団の助成を受け、リトルクラシックinかわさきのメンバーとして川崎市内で数々の子供向けプログラムを実施。エイビー・チェンバーミュージック代表として、アマチュア奏者向け室内楽セミナーの企画と指導を行っている。カントウス・クアルテット、ヴィルトゥオーゾ横浜のメンバー。

海野幹雄 | チェロ |

バロック、古典、ロマン派から現代音楽までと非常に広いレパートリーを持ち、ソロ活動、アンサンブル、全国のオーケストラへの首席客演、また時には編曲や指揮も行うなど幅広い活動を繰り広げているマルチなチェリスト。音楽一家に生まれ（父は元N響コンサートマスター海野義雄、母は元都響首席チェリスト海野ユキ恵、祖父は元N響ヴァイオリニスト海野次郎、伯父は元札幌首席チェリスト土田英順）、14歳より母にチェロの手ほどきをうける。桐朋女子高等学校を経て、桐朋学園ディプロマコース修了。第20回霧島国際音楽祭で特別奨励賞、第12回全日本ソリストコンテストでグランプリを受賞等、数々の賞を受賞。東京フィル、新日本フィル、日本フィル、神奈川フィル、仙台フィル、大阪フィル等、全国の主要オーケストラへ定期的に首席チェロ奏者として客演している。毎年王子ホール（銀座）でソロリサイタルを開催、横浜市イギリス館においては毎月サロンコンサートを開催、また（財）地域創造主催「公共ホール音楽活性化事業（おんかつ）」登録アーティストとしても活躍の場を広げている。2012年には1stアルバム「海野幹雄 plays シューマン」をリリース。トウキョウモーツァルト・プレイヤーズ、室内オーケストラARCUS（アルクス）、スーパー・チェロアンサンブル・トウキョウ等数多くのアンサンブルや室内オーケストラに所属。NPO法人「ハマのJACK」理事。

川井綾子 | ピアノ |

4歳よりピアノを始める。桐朋女子高等学校音楽科在学中、第40回全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）高校の部全国第1位、日本放送協会賞を受賞。桐朋学園大学を卒業後、渡仏。パリ・エコールノルマル音楽院の最高演奏家課程を首席で卒業。サレルノ（イタリア）、マリア・カナルス（スペイン）、カントゥー（イタリア）などの国際ピアノコンクールで最高位入賞、エリザベート王妃国際ピアノコンクール（ベルギー）セミファイナリスト。パリ・ショパン協会主催「フェスティバル・ショパン」や「ヴァル・ディゼール音楽祭」出演など、フランス、イタリア、ベルギー、ポルトガルでもリサイタル、コンチェルトを行う。2000年に帰国後、新星日本交響楽団、九州交響楽団、大阪交響楽団、大阪センチュリー交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団と共演。園田高弘推薦の“旬のピアニストシリーズ”の第1回演奏会、横浜市招待国際ピアノ演奏会、NHK-FM「名曲リサイタル」、ショパン協会例会リサイタルなどに出演。自治省の外郭団体、（財）地域創造の主催する「公共ホール活性化事業」やスタインウェイ・ジャパンによる“Young Virtuoso Series”の登録アーティストとして、またPTNA（日本ピアノ指導者協会）の審査員、アドヴァイザーとして各地でコンサート、レクチャー、レッスンなどで活躍。CD「Fantasy」、「ウィーンをめぐる物語」は「レコード芸術」誌において共に準特選盤に選ばれる。現在 フェリス女学院大学音楽学部、愛知県立芸術大学講師。